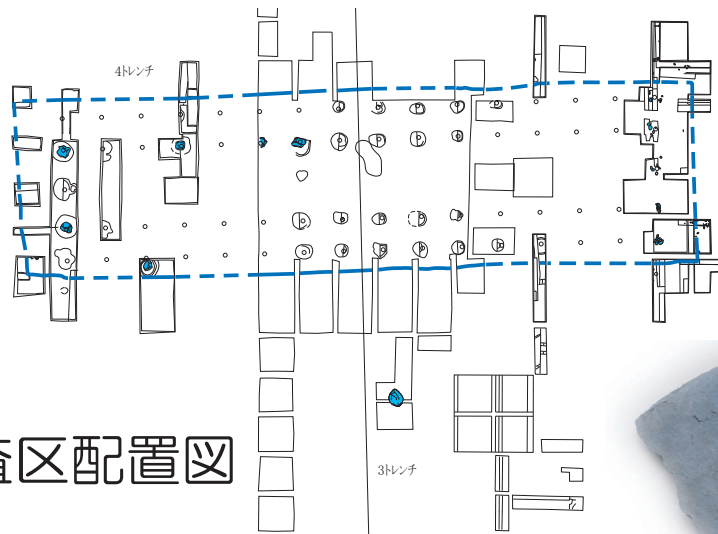




軒丸瓦



尼坊跡



瓦「上」



①金堂南辺に沿う瓦列 (南東から)



空撮

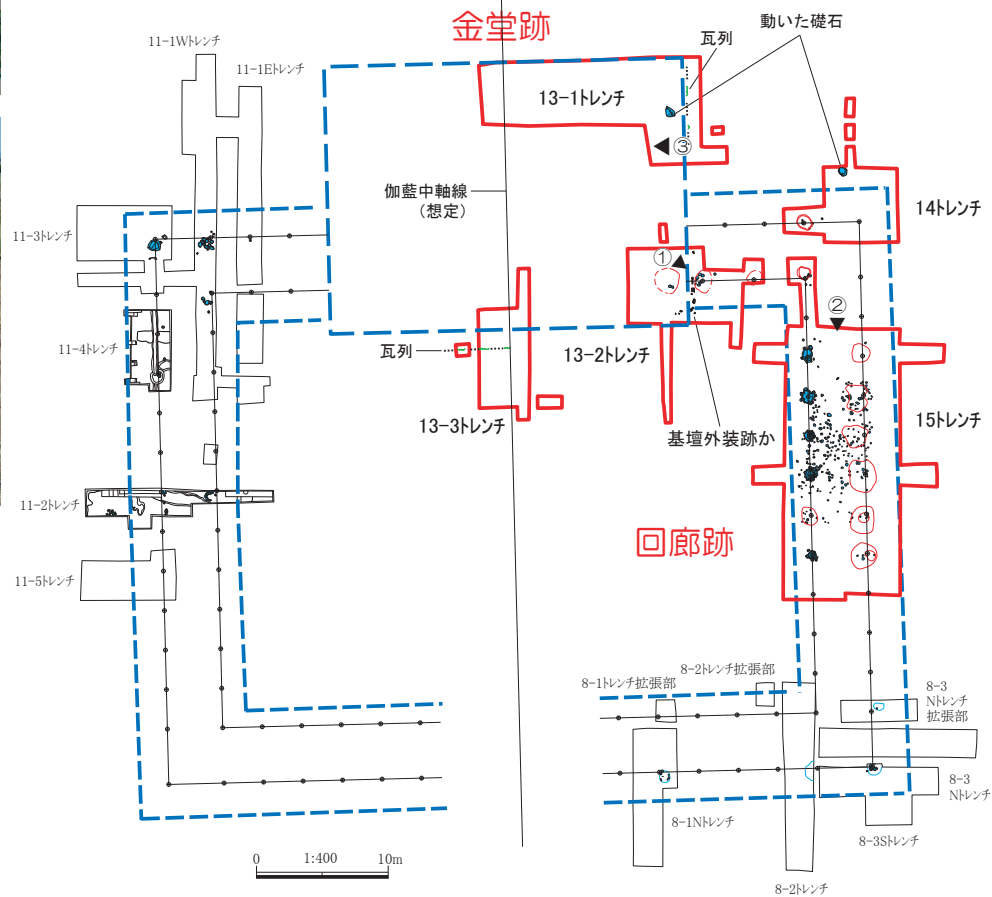


作業風景



③金堂の地業断面

調査区配置図



金堂跡

回廊跡



②東面回廊跡 (北から)

回廊跡は過去に南東隅や北西隅を調査している。今回、東面回廊跡で原位置の礎石が5か所が残ることから、より具体的に柱の位置がわかった。このことから想定される上屋の規模は、柱の芯々距離で東西52.8m・南北41.4m、通路の幅は4.2mある。なお地業部分の幅は8m前後である。

- 令和2年度調査区範囲
- 地業範囲
- 調査で確認された礎石及び根石
- 柱の推定位置